

広島県内に成育しているコウヨウザン

技術支援部 涌嶋 智

1 目的

庄原市川北町にある早生樹コウヨウザンの林分（以下「庄原林分」）は、国内有数の面積と本数を誇りますが、広島県内においてはこの他にも社寺林を中心としてコウヨウザンが単木で成育している事例が数多くあります。本研究は、このような広島県内に成育しているコウヨウザンの状況を明らかにすることを目的として行いました。

2 内容

調査方法：県内に成育しているコウヨウザンの調査は、平成26年度から林業課と協力して開始し、県内の森林組合や森林所有者、個人などへの個別の聞き取りや電話等による情報提供を受け、これらをもとに現地確認調査を行うほか、主要な道路沿いを中心に探索を行いました。

調査項目：成育場所の状況（神社境内、寺院敷地、公園内、学校林、個人庭など）、GPSによる位置情報、樹高、胸高直径、樹形や折損被害の有無、球果着生状況、萌芽・ひこばえの発生状況などを調査しました。

3 結果

図1に令和4年度時点で調査を行った広島県内のコウヨウザン成育位置図と市町別および成育場所別個所数の円グラフを示します。庄原林分を除き、県内の71箇所計127本が成育していました。このうち5箇所5個体の立木は調査後に伐採されています。成育場所は主に県の北部から西部にかけて分布しており、市町別では三次市、安芸高田市、北広島町が多く、場所別では神社、寺院、個人庭が大部分を占めていました。

写真1は三次市三和町、安芸高田市吉田町に成育しているコウヨウザンの巨木で、いずれも樹高が30m、胸高直径が1.0mを超えています。安芸高田市吉田町の個体については、今からおよそ150年前の江戸時代後期に植えられたとの伝承が残っています。

図2に年平均気温のメッシュ図と成育位置を重ねたものと、気温ごとの成育個所数の円グラフを示します。他県のコウヨウザンは年平均気温が10℃以上の場所で成育していることが分かっていますが、広島県内でも同様の結果であり、温度の面から見ると標高の高い一部の区域を除き、県内のほぼ全域が成育に適した範囲であると考えられます。

図3に成育個体の樹高と直径の関係を示します。庄原林分の平均値（黄丸：斜面の上・中・下）では樹高に対して直径が細いのにに対し、単木で成育した個体では樹高に対して直径が太い個体が多くなっています。また、幹が折れて樹高が低い個体もありました。

4 活用の方向

今回の調査により、高樹齢の個体を含むコウヨウザンの成育状況が明らかになりました。本調査の結果は今後のコウヨウザンの植栽や育成の参考にしたいと考えています。

県内にはまだ未調査の個体があると思われますので、コウヨウザンが成育している場所をご存じであれば、当センターにお知らせいただければ幸いです。

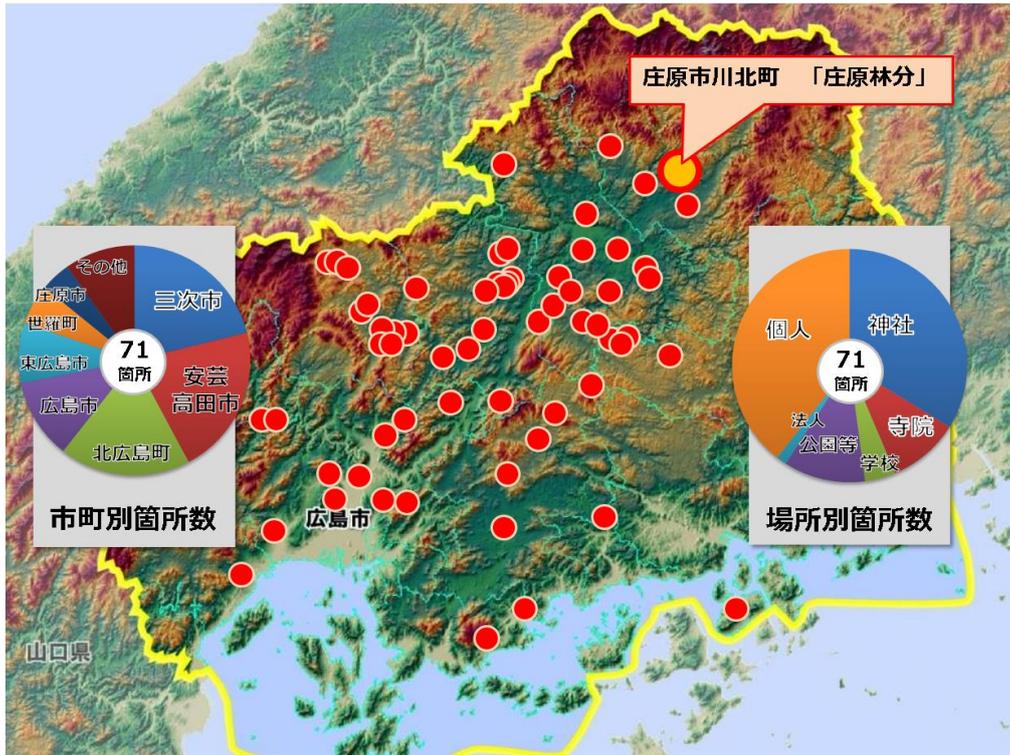


図1 コウヨウザンの成育位置と市町別・所有別の個所数

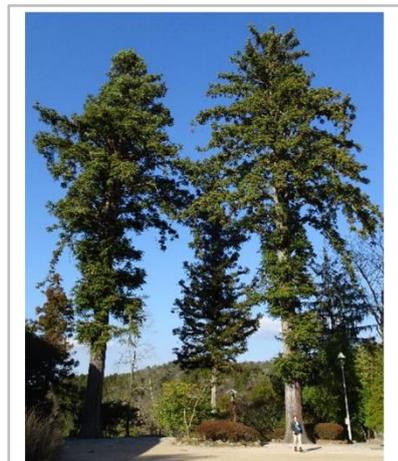


写真1 コウヨウザン巨木

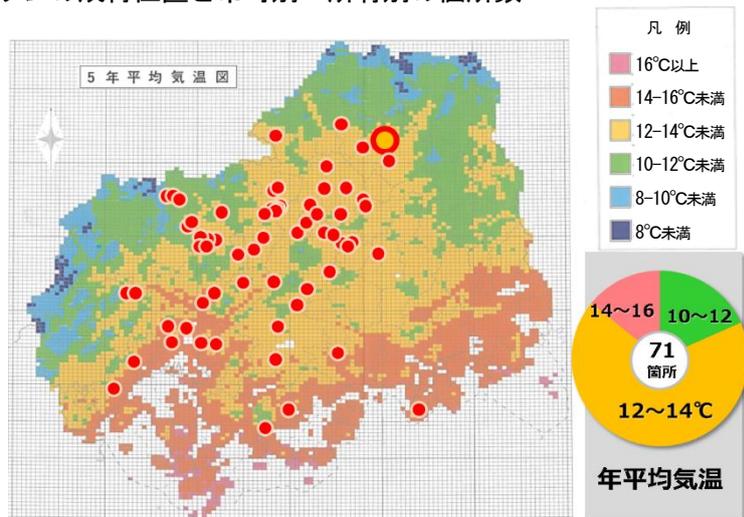


図2 成育地の平均気温

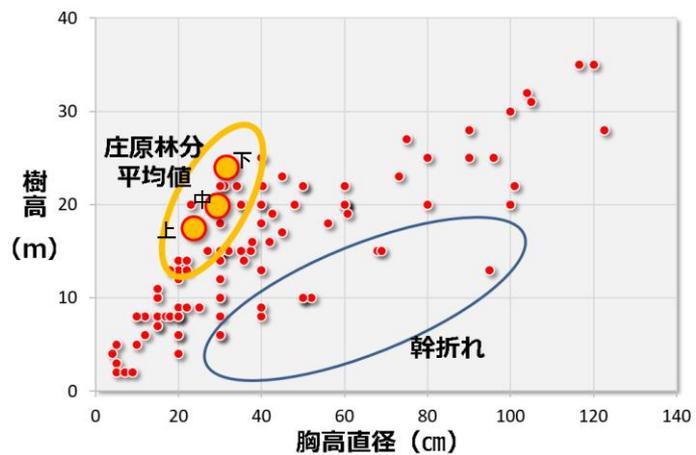


図3 コウヨウザンの樹高と直径